

「さわやか信州省エネ大作戦・2015夏」について

県では、しあわせ信州創造プラン～長野県総合5か年計画～において「環境・エネルギー自立地域創造プロジェクト」を掲げ、節電・省エネルギーの取組を推進しています。

また、長野県環境エネルギー戦略～第三次長野県地球温暖化防止県民計画～においても、最大電力の抑制を数値目標（平成32年度・▲15%（平成22年度比））に掲げ、節電・省エネルギーが構造的に定着した未来志向型のライフスタイル、ビジネススタイルへの転換を進めています。

こうしたことから、今夏においても長野県独自の数値目標を掲げた県民運動「信州省エネ大作戦」を展開し、県民総ぐるみでの節電・省エネルギーの取組を推進します。

1 今夏の電力需給の見通し ⇒ 予備率は確保しながらも余裕のある状況ではない。

- (1) 老朽化した火力発電所の最大限の活用及び電力会社間における電力の融通等を前提に、各電力会社管内では電力安定供給に最低限必要な予備率(3%)以上を確保できる見通し。
- (2) このまま火力発電所の稼働が高水準で推移した場合、大規模な計画外停止が発生した際に、電力需給がひっ迫する可能性もあり、引き続き予断を許さない状況。
- (3) 中部電力管内も、老朽化した火力発電所の稼働や定着節電の実行を前提とした需給見通しであり、決して余裕のある状況ではない。

<平成27年8月の電力需給見通し> (単位: 万kW)

項目	東日本3社	北海道	東北	東京	中部及び西日本	中部	関西	北陸	中国	四国	九州	9電力
最大電力需要	7,007	472	1,445	5,090	9,253	2,597	2,791	545	1,128	549	1,643	16,260
供給力	7,687	513	1,524	5,650	9,672	2,716	2,875	570	1,207	611	1,693	17,359
供給－需要	680	41	79	560	419	119	84	25	79	62	50	1,099
(予備率)	9.7%	8.7%	5.5%	11.0%	4.5%	4.6%	3.0%	4.6%	7.0%	11.2%	3.0%	6.8%

需要値は、節電の定着分(中電管内:H22年度比▲4.9%)を織り込み済み ※「2015年度夏季の電力需給対策について」(2015年5月22日電力需給に関する検討会合 6月10日見直し後)

こうした中、国からは、数値目標の設定は無いものの、現在定着している節電の取組が、国民生活や経済活動等への影響を極力回避した無理のない形で、確実に行われるよう、節電の協力が要請されている。

2 長野県の節電・省エネ目標 ⇒ 昨年夏季の目標に2ポイント上乗せ

最大電力 ▲9% (H22年度比) 県機関:最大電力 ▲14%(H22年度比)

《数値目標を設定する理由》

国からは数値目標の設定はないが、節電の構造的な定着を目指して長野県独自に数値目標を設定

- ① これまでの節電実績を踏まえた上での定着節電の確実な実行
- ② 「しあわせ信州創造プラン」に掲げる環境・エネルギー自立地域の創造及び「長野県環境エネルギー戦略」の着実な実行
- ③ 目標の達成状況の評価などを通じた、将来の節電・省エネルギー対策の検討

《長野県環境エネルギー戦略に掲げる数値目標との関係》

指標名	基準値 2010年度 (H22年度)	区分	目標(2010(H22)年度比)											
			2011年度 (H23年度)	2012年度 (H24年度)	2013年度 (H25年度)	2014年度 (H26年度)	2015年度 (H27年度)	2016年度 (H28年度)	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (H31年度)	2020年度 (H32年度)		
最大電力	297万kW	戦略の目標	目標	▲ 3.5%	▲ 5.0%	▲ 6.0%	▲ 7.0%	▲ 9.0%	▲ 10.0%	▲ 11.0%	▲ 12.0%	▲ 14.0%	▲ 15.0%	
			実績	▲ 7.7%	▲ 10.1%	▲ 10.4%	▲ 12.9%	-	-	-	-	-	-	
		省エネ大作戦	夏	目標	▲ 5.0%	▲ 5.0%	▲ 6.0%	▲ 7.0%	▲ 9.0%	-	-	-	-	-
			冬	目標	-	▲ 3.0%	▲ 5.0%	▲ 5.0%	-	-	-	-	-	-
			実績	▲ 3.5%	▲ 7.2%	▲ 0.5%	▲ 1.2%	-	-	-	-	-		

3 取組期間

6月22日(月)[夏至]～9月30日(水)

4 取組方針

- (1)県民生活や経済活動に影響を及ぼさない、無理のない範囲での県民運動の展開
- (2)ピーク時間帯における最大電力の抑制を中心に呼び掛け
- (3)未来志向型のライフ・ビジネススタイルへの転換につながる、前向きな節電・省エネ対策
- (4)経費の削減や地域経済の活性化、生活の質の向上に資するよう配慮
- (5)市町村、経済団体、消費者団体、マスコミ等、県内関係機関との連携・協働
- (6)カット(減らす)・シフト(ずらす)・チェンジ(切り替える)の推進

5 主な取組内容

New! 「信州ひんやり料理」の紹介(信州ならではの涼しげな料理を食べて、省エネ推進[体が涼しくなり冷房費節減]、地域振興[夏野菜など地域の食材も再発見])

New! 「信州クールシェアスポットシールラリー」の展開
(県内各スポットを巡り、楽しみながら節電・省エネ)

取組主体	取 組 内 容
全 般	《ピークカットチャレンジ》 7/29～8/1をピークカットチャレンジ期間として、電力使用のピーク時間帯(13時～16時)を中心に、最大電力抑制に向けた取組を呼び掛ける。 《信州クールシェアプロジェクト》 ピーク時間帯を中心に、家庭のエアコン等を止めて、身近にある涼しい場所や、みんなで楽しめる行事等への外出等を促し、電力需要の削減と、地域経済の活性化を図る。
家 庭	㊦「信州ひんやり料理」の募集・紹介 「おいしい信州ふーど(風土)」の信州ふーどレシピの中から、夏野菜を使った料理やひんやりする料理、見た目が涼しげな料理を「信州ひんやり料理」として紹介する。また、信州クールシェアスポットの登録施設からも同様に募集を行い、広く紹介を行う。 ㊦クールシェアスポットシールラリー シールラリーに参加しているスポットを利用すると各スポットからシールが配付され、5枚集めて応募いただいた人の中から、抽選で素敵な景品をプレゼント。 ・ 家庭の省エネサポート制度(ライフスタイルの転換、経費削減) 電気・ガスなどの民間事業者が県民と接する機会を活用して、省エネアドバイスや省エネの簡易診断を実施する。 《節電・省エネアクションメニューによる取組》 信州クールシェアへのお出掛け、無料の省エネアドバイス・省エネ診断の利用、照明器具や家電製品等の省エネ型への買い替え ほか
事 業 者	《節電・省エネアクションメニューによる取組》 デマンド監視装置の導入・活用による「見える化」、照明照度の見直し、省エネ型設備への更新 など ・ 信州省エネパートナー 事業者の主体的な節電・省エネルギーの取組を促すため、具体的な取組を行う事業者を「信州省エネパートナー」として登録。その取組内容を県ホームページ等でPR。 ・ 事業活動温暖化対策計画書制度 事業活動に伴うエネルギー利用の効率化を図るため、事業者が策定した計画の確認を行うとともに、より多くの現地訪問により、省エネに向けた助言や指導を行う。ほか
県 機 関	《長野県職員率先実行計画に基づく取組》 ・ 身近な取組 不要な照明の消灯徹底、適正な冷房運転(室温28℃)など ・ サマーエコスタイルの推進 適正冷房の徹底とそれにふさわしい軽装勤務の推進(5/1～10/31) ・ エコマネジメント長野の運用 環境マネジメントシステムの着実な運用を通じた節電・省エネルギーの推進 ・ 緑のカーテン アサガオ、ニガウリの種を配付し、室温上昇の抑止効果を図る ほか